

I 目指す学校像

生徒一人一人のニーズに応じた質の高い教育を推進し、自立と社会参加の基礎を培う学校

～豊かな心を持ち、地域の一員として自分らしく生きる力を育む～

<学校教育目標>

「たくましい心と体を培い、責任をもってやりぬく力をもつ生徒」

「自ら進んで学び考え、選択・決定し、主体的に行動する生徒」

「自然や環境に関心を持ち、社会の一員として思いやりと規範意識を持ち、豊かに生きる生徒」

II 中期的目標と方策及び進捗状況

中期目標	方策	成果と課題 (H28-H30)
1 生徒一人一人に応じた指導の充実と自立と社会参加を見据えた教育の推進	(1) 生徒の人権に配慮した教育の推進 (いじめ・体罰、不適切な指導の根絶) (2) 個別指導計画に基づいた、生徒一人一人の学力の向上・定着 (3) 生徒の学習の進展に寄与するICT機器及び視聴覚教材を活用した授業の実践 (4) 学習環境の充実 (安全・清潔・分かりやすさ・動きやすさ) (5) 持続可能な社会づくりに向けた教育の推進 (環境教育) (6) 生徒の希望を実現する進路指導の充実・生徒の実態に応じたキャリア教育・職業教育の促進 (7) オリンピック・パラリンピック教育及び日本の伝統・文化の教育の推進	学校評価で教員は100%人権配慮をしているとの回答が得られたことは成果である。またオリンピックパラリンピック教育も組織的・計画的に展開している。今後は、新学習指導要領を視野に入れた授業力の向上及び柔軟性のある個に応じた現場実習を検討していく。
2 安心・安全な環境整備及び健康・健全な教育活動の充実	(1) 生徒に応じた自立や自律を促す指導の充実 (SNSルール、挨拶・時間・身だしなみの励行等) (2) 健全育成上問題となる行動への組織的対応の充実と自己有用感の醸成 (部活動・表彰等) (3) 自殺予防対策に関する取組の徹底 (4) 教職員の防犯意識や安全配慮義務への意識向上と学校危機管理体制の強化 (5) 健康教育及び食育の推進 (アレルギー、食形態等含) (6) 防災教育の充実 (防災ノートの積極的活用・地域と協働した宿泊防災訓練)	健全育成の取組は功を奏した3年間である。今後も継続していくが、高等学校からの編入学も増えつつあるので、新たな生徒へのケアを推進していく。特に医療関係の連携を大切にする。課題は教員の日々の危機管理が希薄となっている。また防災関係も近隣の学校も含めた地域との連携や機能的な備蓄品の整備を確実に進める。
3 生徒や保護者の思いや生活をサポートする組織体制の確立	(1) 余暇活動の充実 (放課後デイサービス・移動支援の事業者との連携・スポーツ等) (2) 様々な問題に寄り添える相談機能の充実と 教職員のカウンセリングマインドの向上 (3) 学校生活支援シート等を活用し地域・関係諸機関との連携の充実 (4) 個々の教員の進路指導に関する専門性の獲得及びアフターケア (定着支援)の充実 (5) 登校支援の強化 (不登校対策)	デイサービスや相談支援事業所等の連携は非常に良い。登校支援では、不登校の生徒の就労につながったことは大きな成果である。今後も継続していく。課題としては教員一人一人の進路指導力の向上と考える。
4 地域に開かれ、地域に貢献する教育活動の推進	(1) 本校の教育活動の発信・共有の推進 (巡回展示・HP・各種便り等) (2) 地域との障害者スポーツの普及啓発及びスポーツ交流の推進 (3) 地域への社会貢献の充実及び地域と協働した教育活動の推進 (4) 発達障害等の特別な支援が必要な児童・生徒についての相談機能の充実 (5) 江戸川区における進路についての発信機能の充実 (鹿本・江東・臨海地区等)	江戸川区と連携し、本校が拠点となってカヌー、ボッチャ、サッカー等を実施したり、パラリンピックの選手と交流を深めたりと多岐に渡り充実していた。課題は高等学校との連携強化と江戸川区在住の児童・生徒の進路等についての情報共有を確実に実施する。
5 適正かつ効率的な学校経営と組織体制の強化	(1) サービスの厳正と高いモラル意識の向上 (2) 外部専門員の活用及び 組織的かつ計画的なOJTの推進による質の高い授業力の向上 (3) 業務の効率化及び在校時間の削減を推進し 教職員のライフ・ワーク・バランスの実現を図る。 (4) ライフ&キャリアプラン (職層・経験年数等) に基づく人材育成 (5) 経営企画室との教職員の連携強化及び経営企画室の学校経営参画の推進	教員のサービスの厳正はこれまで通りであるが、責任と誇りをもって職務を全うするためには、教職員の働き方改革を確実にすすめていく必要性がある。

